

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公開番号】特開 2004-4027 (P2004-4027A)  
【公開日】平成 16 年 1 月 8 日 (2004.1.8)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-001  
【出願番号】特願 2003-100755 (P2003-100755)  
【国際特許分類】

**G 0 1 R 31/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 R 31/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 3 日 (2006.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 つの機能ボード、及び少なくとも 1 つの電圧変換機を含み、その際、前記電圧変換機によって発生された電圧が前記機能ボードに供給されるように、前記機能ボード及び前記電圧変換機が接続されており、制御信号を供給し、前記電圧変換機によって供給された前記電圧を制御するための電力制御回路を含む電気システムにおいて、前記電圧変換機がターンオフされた場合に、前記電力制御回路の前記制御信号をクランプすることを特徴とする、電気システム。

【請求項 2】 前記の電圧変換機がターンオフされた場合、前記電力制御回路の前記出力信号が制限されることを特徴とする、請求項 1 に記載の電気回路。

【請求項 3】 前記電気制御回路は入力端子と出力端子との間に接続されたスイッチを備えた演算増幅器を含み、前記電圧変換機がターンオフされた場合に、前記スイッチが閉じることを特徴とする、請求項 1 に記載の電気回路。

【請求項 4】 前記演算増幅器の前記入力端子が、電圧変換機によって供給される実際の電圧を転送する前記電気制御回路の第 1 の入力端子と、基準電圧を転送する前記電気制御回路の第 2 の入力端子とにそれぞれ接続されており、かつ、前記スイッチが前記第 1 の入力端子に接続されていることを特徴とする、請求項 3 に記載の電気回路。

【請求項 5】 前記スイッチに対して並列にコンデンサが接続されていることを特徴とする、請求項 3 に記載の電気回路。

【請求項 6】 制御信号を転送する前記演算増幅器の前記出力端子が、電圧変換機に接続されていることを特徴とする、請求項 3 に記載の電気回路。

【請求項 7】 前記機能ボードが、通信システムの前記チャネルをテストするためのいわゆるチャネルボードであることを特徴とする、請求項 1 に記載の電気システム。